

竜ヶ峯道場



現在、日本にあるほとんどの剣道場は床がいきません。膝や踵への負担がかかりすぎると思うのです。

それは、深く考えて作る人がいなかったからです。しかし、床さえ張り直してしまえばそれは解消します。その見本になるのがこの道場の工事でした。

費用を安くあげるためには既存の床の上に板を張るのが一番ですが、そうすると以前より堅目の床になってしまいます。

茨城県龍ヶ崎市にある竜ヶ峯道場

既存の床の上に新しい床を張るという工法をとり、費用を最小限にしました。

そこで、クッションを入れるわけですが、天井の高さの関係もあり大概のものでは不可能です。細部までお見せできませんがこんなに薄く仕上がる場所を見て頂きたいと思います。

今回の苦勞は6間×8間＝48坪と言う大きさなので、床材の確保でした。お金を出せばいくらでもあります、そうもいきません。市販のものから選りすぐりの出来る人間は、材木屋さんや大工さんではありません。作ってみて使ってみた人だけが良さを認識できるのだと思います。正に経験がものを言うのです。当会の床に対するこだわりは異常です。

道場作りの命の一つだからです。



① 激しい稽古で補修だらけの床
ガムテープで補修していました。



② 最早、補修も効かないほど
床板が傷んでいます。



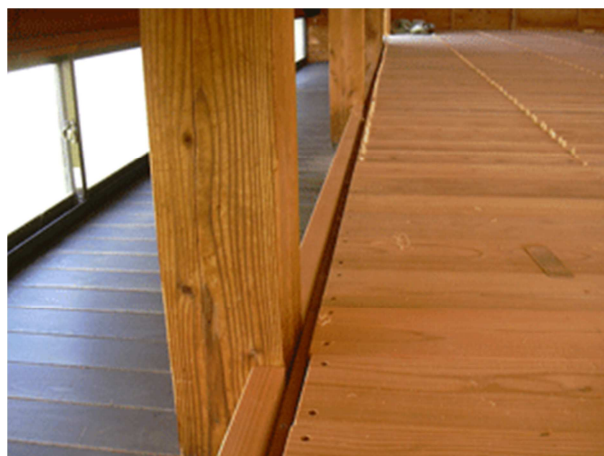
③元の床板の上にクッションをつけて張ります。



④ 張り始めです



⑤ 上がり段の高さも調整しました。



⑥ 端はクッションゴムを入れます



⑦ きれいに出来上がりました。